

類別：器 58 整形用機械器具
一般医療機器 骨手術用器械 (JMDN コード 70962001)

骨ペーストプッシャー

【警告】

1. 本品は未滅菌品であるので、滅菌してから使用すること。

【禁忌・禁止】

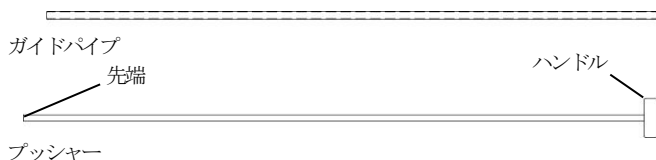
1. 本品を加工、改造しないこと。[本来の性能が発揮されないことがあるため]

【形状・構造及び原理等】

<組成>

ステンレス

<形状・構造>



【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は、骨接合手術等の骨手術に用いる手動式の手術器械である。
本品は、再使用可能である。

【使用方法等】

<使用前>

本品は、未滅菌品であるので、手術前に予め次に示す滅菌条件を参考に滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件により滅菌を行って下さい。

滅菌条件の例：オートクレーブ滅菌

熱原	水蒸気	
処理圧力	118kPa	196kPa
処理温度	121℃	132℃
処理時間	20分以上	5～10分

<使用方法>

- 1) ガイドパイプとプッシャーをセット（ガイドパイプにプッシャーを先端から挿入し、ハンドルが当たるまで挿入）する。
- 2) ガイドパイプとプッシャーをセットした状態で補填部へ挿入しプッシャーのみを引き抜く。
- 3) ガイドパイプに人工骨を補填する。
- 4) プッシャーで人工骨を押し出して補填する。

【使用上の注意】

1. 使用注意

- 1) 使用前に本品に不具合がないか外観検査を実施し、不具合が認められる場合には使用しないこと。
- 2) 本品の使用により感作又は金属アレルギー反応を呈する可能性がある患者には使用しないこと。

- 3) 感染症・神経障害・骨質不十分・高齢者などの患者に使用する場合には慎重に使用すること。
- 4) 本品に破損を及ぼすような過剰な負荷をかけないように適切に使用すること。
- 5) ガイドパイプは規定の使用回数（3回）を超えて使用しないこと。

2. 重要な基本的注意

- 1) 手術医は、本品使用に際し、手術手技について十分に熟知していること。
- 2) 本品に傷、汚れ、摩耗などの異常があるものは使用しないこと。
- 3) 術野内で本品が破損した場合、全ての破損片を除去すること。
- 4) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- 5) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

3. その他の注意

1) 洗浄：

- (1) 使用後はガイドパイプに付着している血液、体液、組織及び骨ペースト等が乾燥しないように、15分以内に血沈用ブラシ等で洗浄する事。
- (2) 腐食（錆び）の原因となるので、洗浄の際、磨き粉や金属ウール・金属ブラシ、クレンザー（磨き粉）等は、使用しないこと。
- (3) ウォッシャー・ディスインフェクターを使用するだけでなく、用手洗浄を併用して洗浄すること。
- (4) 用手洗浄は、酵素洗剤液中でブラシでこすること。
錆取り、熱焼灼除去作用のある洗浄剤を使用すると表面の光沢が変化することがある。
- (5) 器具に付いた洗浄液の残留が無いよう、精製水等により、良くすすぐこと。
- (6) すずぎに使用する水は精製水、などの清水で洗浄すること。水道水は残留塩素や有機物により錆が発生することがあります。

2) 消毒：

- (1) アルカリ／酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させることがあるので、使用しないこと。
- (2) 器具に付いた消毒液の残留が無いよう、精製水等によりよくすすぐこと。
- (3) 消毒後の器具は、長期間水分が付着すると錆びることがあるので、直ちに乾燥させること。
- (4) 包装：滅菌方法に適した包装材料を使用すること。

3) 滅菌：

- (1) EOG、高圧蒸気滅菌、あるいはそれに代わる滅菌設備において、滅菌器のマニュアルを熟知し、その仕様範囲内で滅菌すること。インジケータ等により管理すること。

【保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法・保管方法

- 1) 高温、多湿、直射日光及び水めれを避けて室温で保管すること。
- 2) 本品に損傷が認められた場合には、速やかに使用を中止して交換すること。
- 3) 使用後は洗浄・滅菌後保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社 ベアーメディック
電話番号：03-3818-4041